

7/12 戸田市議会との交流事業 ▶▶ 活発な意見交換

戸田市立図書館・郷土博物館及び学校給食センターの視察と、戸田競艇場会議室での意見交換会を行いました。



戸田市立図書館・郷土博物館にて

まず、30年を迎える図書館は、今月より9時から20時まで開館しており、蔵書数40万冊以上を備え、ほかにも多様な資料や情報が提供されています。年間76万人もの利用者がいるとの説明を受け、「美里町民の方も利用できるの、美里町の森の図書館で相談を」と話してくださいました。

また、郷土博物館では生涯学習の場として、さまざまな郷土展示物をはじめ、一般体験講座・小学生

や親子向け体験講座・教職員向けの研修会が多数開催されています。

巨大な学校給食センターは、平成23年9月にスタートし、ドライシステムで1日に6,000食をつくり上げます。また、年間美里産米4トン、白菜300キログラムが食されています。

競艇場会議室での意見交換会では、市議会議員26名、町議会議員11名が個々に意見交換したのち、競艇場の施設見学をしました。

それぞれの施設で各議員から活発な意見が出され、大変有意義な交流会となりました。



戸田市立学校給食センターにて

副議長 橋場倅男

児玉郡市広域市町村圏組合議会

第2回定例会（6月28日開催）

議長に岡田和己氏（美里町議会議員）、副議長に中原則雄氏（本庄市議会議員）を選出

6月28日に議会が開催され、正副議長の改選によるメンバーの変更が報告されました。

- ① 岡田 和己（美里町議会議員）
- ① 橋場 倅男（美里町議会副議長）
- ① 小井戸英夫（神川町議会議員）
- ① 落合 周一（神川町議会副議長）
- 高橋 正行（上里町議会議員）
- 植井 敏夫（上里町議会副議長）
- ① 早野 清（本庄市議会議員）
- 青木 清志（本庄市議会議員）
- 明堂 純子（本庄市議会議員）
- 広瀬 伸一（本庄市議会議員）
- 田中 輝好（本庄市議会議員）
- 中原 則雄（本庄市議会議員）

① 新たに選出された議員

その後、新議長に岡田和己氏（美里町議会議員）・副議長に中原則雄氏（本庄市議会議員）が選出され、児玉郡市広域市町村圏組合一般職職員の給与の臨時特例に関する条例の議案が審議・可決されたほか、追加議案で議会選出の監査委員が提案され、広瀬伸一議員（本庄市議会議員）が承認されました。

また、議会構成については、総務委員会、厚生文教委員会をはじめ、余熱利用施設運営委員会、利根グリーンセンター運営委員会、小山川クリーンセンター運営委員会、斎場運営委員会、消防審議会の各委員が決まりました。

（美里町選出議員 岡田和己、橋場倅男）

児玉郡町議会議長会前期研修会

議会人の危機管理

講師：市町村アカデミー客員教授 大塚康男氏

平成25年6月27日（木）実施 於：本庄市内「五州園」

大塚先生は、昭和21年東京都生まれ、昭和45年日本大学法学部を卒業後、千葉県市川市職員として勤務をされ、総務部次長、議会事務局長、教育次長などを歴任し、平成19年4月より市町村アカデミー客員教授となり、現在に至っております。

先生は、行政訴訟の実務・住民監査請求・議会事務局などの経験を通して、自治体が行なう職員研修、市町村議会議員研修の講師等としてご活躍されているとともに、多くの著書も出版されております。

今回の研修会では、「議会議員の発言方法、内容、規範、制限や取り消し等について」、「議員視察の目的、費用額の妥当性について」、「議員の兼業の禁止について」の3項目について話をされました。

特に、「議員の兼業の禁止について」が印象に残りました。議員はみずから営利事業は営むことができるが、議員は当該地方公共団体に対し、直接請負をし、またはそれと同等な関係に立つことは許さ

れません。これを「兼業禁止」あるいは「請負禁止」とあると言われ、このことは地方自治法第92条の2に規定されております。

議員は議会の審議、議決を通じて当該地方公共団体の事務や

事業に影響力を持つので、議員個人として直接的利害を持つことを禁止し、一般住民から不信や疑惑を招くことを排除し、議会の公平運営を確保することであると話をされました。軽妙かつ実例にのった講演は、大変有意義なものでした。

今回の研修をこれからの議会活動に生かしていきたいと思っております。

総務建設常任委員会 委員長 櫻沢克幸



研修風景

視察研修

7/16 文教民生経済常任委員会 ▶▶ 小中学校を訪問して



授業見学

「いいでーす」元気な子どもたちの声から始まった文教民生経済常任委員会の学校訪問。連日テレビをにぎわせている問題などみじんも感じられない授業風景を見ていると、先生や保護者、地域の方々に愛されて成長していることに心から感謝を覚えます。

美里町では、各学校が特色のある目標を掲げ、子どもたちの豊かな成長を願い創意工夫を凝らして、さまざまな授業を実施しています。教育現場

は子どもたちとともに成長をしていると感じました。町内の学校にも問題がないわけではありませんが、その問題に対し真摯に向き合い、対応している教職員に触れると、議員としてどう向き合うべきかと考えさせられる時間でした。

私は、時代の成長とともに出てくるさまざまな問題に対し、子どもたちを取り巻く大人たちが一人ひとりの問題だととらえ、だれかが何かするという解決策ではなく、まず自分がどうするかを考え「行動」することが大切ではないかと感じました。

これからも、子どもたちが安全・安心な環境の中で豊かな成長を遂げられるよう、委員会メンバーとともに努めることを誓い委員会報告いたします。

文教民生経済常任委員会 委員長 大島輝雄